

1 大川広域消防の沿革

昭和45年 7月18日	大川地区広域圏設定
昭和45年 8月26日	大川地区広域行政振興整備事務組合設立について知事の許可
昭和47年 2月 8日	消防本部(署)及び分遣所の起工式、工事着工
昭和47年 2月12日	広域消防及び救急業務について知事の許可
昭和47年 4月 1日	大川広域消防本部発足 消防職員48人採用
昭和47年 4月15日	消防本部及び消防署を置かなければならない町村の指定を受ける。
昭和47年 7月10日	消防本部(署)及び分遣所竣工
昭和47年 8月 1日	1本部、1署、3分遣所、消防車4台、指令車1台で業務開始 消防職員13人採用
昭和47年12月 1日	消防職員9人採用
昭和48年 1月28日	水槽付消防ポンプ自動車1台及び広報車1台購入、本署に配置した。
昭和48年 2月19日	救急車1台購入
昭和48年 4月 1日	本署に救急車1台配置し、救急業務開始
昭和48年 7月29日	救急車1台購入
昭和48年 8月 1日	第3分遣所に救急車1台配置し、救急業務開始
昭和48年 8月28日	小型動力ポンプ積載車1台購入し、本署に配置した。
昭和49年 4月 1日	消防職員5人採用
昭和50年11月19日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台寄贈、本署に配置した。
昭和51年 6月12日	分遣所の名称を「第1分遣所」を「白鳥分署」に「第2分遣所」を「寒川分署」に 「第3分遣所」を「志度分署」に改める。
昭和51年 7月 6日	日本消防協会から広報車1台貸与された。
昭和51年 9月 6日	日本消防協会から救急車1台寄贈された。
昭和51年10月31日	消防本部庁舎南側に訓練塔を設置した。
昭和51年12月 1日	消防職員の定数条例を改正し、78人に改めた。 消防職員3人採用
昭和51年12月 1日	寒川分署に救急車1台配置し、救急業務開始
昭和52年10月 1日	テレガイド設置
昭和54年 7月 7日	防災指導車(軽四)購入
昭和55年 1月30日	指令車購入(更新)
昭和55年 3月21日	香川県共済農業協同組合連合会から救急車1台寄贈、本署の救急車を更新した。
昭和57年 3月31日	査察車購入
昭和57年 6月30日	救急車1台購入、志度分署の救急車を更新した。
昭和58年 3月25日	消防ポンプ自動車(CD-1型)1台購入、本署の消防ポンプ自動車を更新した。
昭和58年 3月30日	消防、救急指令台更新
昭和58年 9月 1日	日本消防協会から救急車1台寄贈、寒川分署の救急車を更新した。
昭和58年 9月25日	長尾ライオンズクラブから軽四広報車1台寄贈、寒川分署に配置した。
昭和58年 9月25日	車載無線機5W1台購入
昭和58年12月19日	消防ポンプ自動車(CD-1型)1台購入、志度分署の消防ポンプ自動車を更新した。
昭和59年12月14日	消防ポンプ自動車(CD-1型)1台購入、白鳥分署の消防ポンプ自動車を更新した。
昭和60年 7月 1日	白鳥町、土成町、市場町、阿北消防組合消防本部と消防相互応援協定締結
昭和60年12月24日	香川県共済農業協同組合連合会から救急車1台寄贈、本署に配置した。
昭和60年12月25日	消防ポンプ自動車(CD-1型)1台購入、寒川分署の消防ポンプ自動車を更新した。

昭和61年 3月27日	阿北消防組合消防本部と鶴の田尾トンネル防災活動等の相互応援協定に基づく覚書を締結
昭和61年 12月 1日	香川県消防相互応援協定締結
昭和61年 12月25日	水槽付消防ポンプ自動車1台購入、本署に配置し、旧水槽付消防ポンプ自動車を志度分署に配置した。
昭和61年 12月25日	査察車1台購入
昭和62年 4月 1日	消防職員の定数条例を改正し、88人に改めた。 消防職員3人採用、現員81人となる。
昭和62年 7月13日	長尾町、三木町、塩江町、脇町、讃岐地区広域消防組合、美馬東部消防組合と消防相互応援協定締結
昭和62年 8月 1日	引田町、鳴門市と消防相互応援協定締結
昭和62年 8月28日	引田町、板野町、上板町、板野西部消防組合と消防相互応援協定締結
昭和62年 12月16日	救助資機材搬送車1台購入、本署に配置した。
昭和63年 2月17日	ファクシミリ1台設置
昭和63年 3月29日	消防本部無線基地局増波(全国波、県内波)
昭和63年 4月 1日	消防職員7人採用、現員88人となる。
昭和63年 6月20日	広報車1台購入(更新)
昭和63年 8月10日	日本消防協会から救急車1台寄贈、志度分署の救急車を更新した。
昭和63年 9月 6日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台寄贈、志度分署に配置、旧水槽付消防ポンプ自動車を寒川分署に配置した。
昭和63年 9月20日	救急車1台購入
昭和63年 10月 1日	白鳥分署に救急車1台配置し、救急業務開始
平成元年 4月 1日	消防職員の定数条例を改正し、91人に改めた。 消防職員4人採用し、現員91人となる。
平成元年 7月12日	防災指導車(軽四トラック)購入(更新)
平成元年 8月 9日	日本消防協会から携帯無線機10台寄贈された。
平成元年 12月13日	水槽付消防ポンプ自動車2台購入、1台は白鳥分署に配置、1台は寒川分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新した。
平成2年 5月22日	防災指導車(軽四トラック)2台購入し、白鳥、志度分署に配置した。
平成3年 3月29日	白鳥、寒川分署救急仮眠室増築工事竣工
平成3年 4月 1日	消防職員の定数条例を改正し、100人に改めた。
平成3年 8月27日	気象観測装置購入(更新)
平成4年 1月10日	指令車購入(更新)
平成4年 1月28日	救急車1台購入、寒川分署の救急車を更新した。
平成4年 4月 1日	消防職員3人採用、現員92人となる。
平成4年 9月 4日	日本防火協会から広報車1台寄贈、消防本部に配置した。
平成4年 9月11日	日本消防協会から救急車1台寄贈、本署の救急車を更新した。
平成5年 3月25日	志度分署会議室及び車庫増築工事竣工
平成5年 3月30日	白鳥、寒川、志度の各分署にファクシミリを設置した。
平成5年 4月 1日	消防職員の定数条例を改正し、106人に改めた。 消防職員4人採用、現員96人となる。 消防本部・署の組織を改正し、1本部2署2分署体制とした。
平成5年 12月 4日	救助工作車1台購入、東署に配置し、救助資機材搬送車を西署に配置した。
平成5年 12月10日	消防本部に車庫38.5㎡を増築した。

平成 6 年 1 月 20 日	香川県防災ヘリコプター派遣に関する協定締結により職員1名派遣
平成 6 年 2 月 1 日	香川県防災行政無線に関する協定締結
平成 6 年 4 月 1 日	消防職員5人採用、現員100人となる。 香川県防災ヘリコプター応援協定締結
平成 6 年 7 月 29 日	原調車購入(更新)
平成 7 年 1 月 17 日	阪神・淡路大震災に職員13人(延べ23日間)を兵庫県へ派遣
平成 7 年 4 月 1 日	消防職員3人採用、現員103人となる。
平成 7 年 6 月 1 日	消防職員の定数条例を改正し、110人に改めた。
平成 7 年 6 月 20 日	広報車1台購入、西署に配置した。
平成 7 年 8 月 16 日	防災指導車(軽四トラック)購入(寒川分署更新)
平成 7 年 9 月 5 日	緊急消防援助隊の救急部隊として登録される。
平成 8 年 4 月 1 日	消防職員7人採用、現員110人となる。
平成 8 年 11 月 19 日	はしご自動車(35m級)購入、西署に配置した。
平成 9 年 11 月 27 日	消防ポンプ車(CD-1型)2台購入、東署及び西署の消防ポンプ自動車を更新した。
平成 9 年 12 月 1 日	高規格救急自動車1台購入、東署救急自動車を更新した。
平成 10 年 2 月 24 日	消防本部に通信指令室238.30㎡増築した。
平成 10 年 3 月 26 日	香川県消防相互応援協定に基づく高速自動車道等に関する覚書締結 高速自動車道における救急業務、火災消火業務等に関する覚書締結
平成 10 年 10 月 1 日	高松市消防局と携帯電話等からの119番通報転送等に関する協定締結
平成 10 年 12 月 18 日	高規格救急自動車1台購入、西署救急自動車を更新した。
平成 11 年 3 月 26 日	消防緊急通信指令施設(Ⅱ型)設置、運用を開始した。 救急波を増波及び設備の増設をした。
平成 11 年 7 月 30 日	消防ポンプ車(CD-1型)2台購入、白鳥分署及び寒川分署の消防ポンプ自動車を更新した。
平成 11 年 9 月 30 日	原調車購入(更新)
平成 12 年 9 月 11 日	東消防署、白鳥分署及び寒川分署庁舎改築した。
平成 13 年 4 月 1 日	液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく事務のうち設備工事の届出受理等の事務を共同処理に追加する。
平成 13 年 5 月 24 日	広報車購入(更新)
平成 13 年 9 月 28 日	西消防署庁舎改築した。
平成 13 年 11 月 20 日	高規格救急自動車1台購入、寒川分署救急自動車を更新した。
平成 14 年 4 月 1 日	津田町、大川町、志度町、寒川町及び長尾町が合併し、さぬき市となる。
平成 14 年 12 月 20 日	高規格救急自動車1台購入、白鳥分署救急自動車を更新した。
平成 15 年 2 月 28 日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台寄贈、東消防署に配置した。
平成 15 年 4 月 1 日	消防職員3人採用、現員111人となる。 引田町、白鳥町及び大内町が合併し、東かがわ市となる。
平成 15 年 6 月 25 日	防災指導車(軽四トラック)購入(東消防署更新)
平成 15 年 12 月 1 日	鉄道災害時の安全対策に関する覚書締結(JR)
平成 15 年 12 月 5 日	通信指令施設システム変更した。
平成 15 年 12 月 5 日	救助資機材搬送車購入(西消防署更新)
平成 15 年 12 月 10 日	西消防署車庫36.08㎡増築した。
平成 15 年 12 月 25 日	鉄道災害時の安全対策に関する覚書締結(琴電)
平成 16 年 3 月 26 日	西消防署、白鳥分署及び寒川分署にホースタワーを設置した。(新設)
平成 16 年 5 月 20 日	防災指導車(軽四トラック)購入(西消防署、白鳥分署更新)

平成 16 年 10 月 13 日	はしご自動車オーバーホール実施
平成 16 年 12 月 2 日	水槽付消防ポンプ自動車購入(西消防署更新)
平成 17 年 12 月 1 日	通信指令施設改修し、携帯119番受信運用開始
平成 18 年 4 月 1 日	消防職員4人採用、現員114人となる。
平成 18 年 11 月 24 日	水槽付消防ポンプ自動車2台購入(白鳥分署、寒川分署更新)
平成 19 年 4 月 1 日	消防職員8人採用、現員116人となる。
平成 19 年 6 月 15 日	広報車購入(防火号更新)
平成 19 年 10 月 1 日	セパレート型防火服導入する。(3年計画)
平成 20 年 4 月 1 日	消防職員4人採用、現員113人となる。
平成 20 年 11 月 7 日	高規格救急自動車1台購入(東消防署更新)
平成 21 年 4 月 1 日	消防職員7人採用、現員113人となる。
平成 21 年 12 月 9 日	高規格救急自動車1台購入(西消防署更新)
平成 22 年 3 月 24 日	気象機器一式オーバーホールし、気象庁検定取得
平成 22 年 4 月 1 日	消防職員4人採用、現員113人となる。
平成 22 年 7 月 6 日	査察車購入(更新)
平成 22 年 10 月 1 日	通信指令施設部分更新し、携帯119番等位置情報通知システム運用開始
平成 23 年 3 月 14 日	東日本大震災に緊急消防援助隊として車両2台、職員12人(延べ8日間)を宮城県へ派遣
平成 23 年 4 月 1 日	消防職員3人採用、現員112人となる。
平成 24 年 3 月 5 日	指令車購入(更新)
平成 24 年 4 月 1 日	消防職員8人採用、現員114人となる。
平成 24 年 12 月 21 日	高規格救急自動車1台購入(寒川分署更新)
平成 25 年 4 月 1 日	消防職員9人採用、現員119人となる。
平成 25 年 11 月 6 日	救助工作車1台購入(東消防署更新)
平成 25 年 11 月 7 日	高規格救急自動車1台購入(白鳥分署更新)
平成 25 年 12 月 9 日	はしご自動車オーバーホール実施
平成 26 年 4 月 1 日	消防職員4人採用、現員110人となる。
平成 27 年 2 月 27 日	消防資機材搬送車1台購入(東消防署更新)
平成 27 年 3 月 24 日	消防ポンプ自動車1台購入(西消防署更新)
平成 27 年 4 月 1 日	消防職員4人採用、現員112人となる。
平成 27 年 10 月 21 日	消防ポンプ自動車1台購入(東消防署更新)
平成 28 年 1 月 18 日	消防本部・東消防署新庁舎竣工
平成 28 年 3 月 14 日	消防本部・東消防署移転運用開始
平成 28 年 3 月 14 日	消防救急デジタル無線及び高機能指令センター運用開始
平成 28 年 4 月 14 日	熊本地震に緊急消防援助隊として車両2台、職員15人(延べ6日間)を熊本県へ派遣
平成 28 年 5 月 2 日	水槽付消防ポンプ自動車(予備車更新)さぬき市寄贈
平成 28 年 10 月 27 日	消防ポンプ自動車1台購入(白鳥分署更新)
平成 29 年 10 月 11 日	消防ポンプ自動車1台購入(寒川分署更新)
平成 29 年 10 月 24 日	高規格救急自動車1台購入(西消防署更新)
平成 29 年 12 月 19 日	原調車購入(更新)
平成 30 年 4 月 1 日	消防職員の定数条例を改正し、117人に改めた。
平成 30 年 4 月 1 日	消防職員5人採用、現員114人となる。
平成 30 年 7 月 8 日	西日本豪雨災害に緊急消防援助隊として車両3台、職員21人(延べ18日間)を愛媛県・広島県へ派遣

平成 30 年 10 月 12 日	西消防署寒川分署新庁舎竣工
平成 30 年 10 月 19 日	西消防署新庁舎竣工
平成 30 年 10 月 24 日	西消防署寒川分署新庁舎運用開始
平成 30 年 10 月 29 日	東消防署白鳥分署新庁舎竣工
平成 30 年 10 月 30 日	西消防署新庁舎運用開始
平成 30 年 11 月 9 日	東消防署白鳥分署新庁舎運用開始
平成 31 年 2 月 26 日	高規格救急自動車1台購入(東消防署更新)
平成 31 年 4 月 1 日	消防職員5人採用、現員114人(再任用職員1人を含む)となる。
令和 元 年 9 月 12 日	広報車1台購入(消防本部更新)
令和 元 年 9 月 27 日	はしご自動車1台購入(30m級先端屈折 西消防署更新)
令和 2 年 4 月 1 日	消防職員4人採用、現員114人(再任用職員1人を含む)となる。
令和 3 年 3 月 22 日	水難救助・消防資機材搬送車1台購入(東消防署配置)
令和 3 年 3 月 26 日	水槽付消防ポンプ自動車1台購入(東消防署更新)
令和 3 年 4 月 1 日	消防職員4人採用、現員117人となる。
令和 3 年 9 月 1 日	大川広域東消防署 水難救助業務開始
令和 4 年 2 月 24 日	救助工作車1台購入(西消防署更新)
令和 4 年 4 月 1 日	消防職員4人採用、現員120人となる。
令和 4 年 11 月 29 日	高規格救急自動車2台購入(東消防署白鳥分署、西消防署寒川分署更新)
令和 5 年 2 月 7 日	高機能消防指令センター部分更新
令和 5 年 4 月 1 日	消防職員2人採用、現員117人となる。
令和 6 年 1 月 31 日	大川広域西消防署 女性用仮眠室竣工
令和 6 年 2 月 1 日	大川広域西消防署 女性用仮眠室運用開始
令和 6 年 2 月 22 日	水槽付消防ポンプ自動車1台購入(西消防署更新)
令和 6 年 4 月 1 日	消防職員2人採用、現員118人となる。
令和 6 年 8 月 5 日	広報車1台購入(消防本部更新)
令和 6 年 11 月 9 日	11月9日、10日の2日間にわたり、瀬戸内海東部を震源とする大規模地震発生を想定した令和6年度中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練を実施
令和 7 年 2 月 26 日	水槽付消防ポンプ自動車1台購入(白鳥分署更新)
令和 7 年 3 月 25 日	3月23日に発生した愛媛県今治市の林野火災に対し、緊急消防援助隊香川県大隊の消火小隊、後方支援小隊として車両2台、職員15人(延べ7日間)を派遣
令和 7 年 4 月 1 日	消防職員3人採用、現員119人となる。